

行ってこーわい 会ってこーわい

「まさきふれあい市」

まちなか朝市で
商店街を活性化

No. 47

毎月第1土曜日の朝(8時30分から)、ふれあい広場で開催されている「まさきふれあい市」。朝から大勢の人でにぎわっています。商店街を活性化しようと松前町商工会が始めたもので、今年で3年目です。会場には、地元業者が集結して、地元の新鮮野菜や果物、総菜やちりめんなどがずらり。その他にも、手作りの小物や余剰品などを販売するグループもあり、さまざまな商品が彩り豊かに並びます。

「おはよう」「寄ってって」と出店者の声が広場に響くと、その声につられるように、地域の皆さんがふれあい市へ。「今日は少し客が少ないな」と商工会職員は話していましたが、終了を待たずに売り切れてしまう店舗もあるほど、にぎわいを見せていました。

近所の女性たちで構成する「ふれあいなかよしクラブ」は、しょうゆ餅、草餅、山菜おこわなどを手作りして販売しています。メンバーの富岡ズエさんは「普段会えない人に会えたり、お友達とお話できたりしてうれしい。毎月楽しみです」とにっこり。「ふれあい市」の名前の通り、地域住民同士の交流の場としての一面も垣間見える朝市です。



1 お買い物と一緒に会話を
楽しむ皆さん
2 朝市には新鮮な野菜や果
物がたくさん

8月4日(土)は休みです。
次回は9月1日(土)
8時30分からです。

▼編集後記

特集「平和のバトン」の作成では、たくさんの人に協力していただきました。「子どもたちのためなら」とインタビューを受けていただいた皆さんは、それぞれの戦争体験を、涙ながらに話してくださいました。平和のバトンをつないでいきたい。それだけです。読者の皆さんが何かを感じ、考えてくれると信じて。

(高橋)

4年に1度しかないのに、私たちの心はこんなにもワクワクし、注目してしまいます。たくさん日本人が夢を与えてくれるオリンピックが開幕しました。そして、終了後の8月15日には、日本は67度目の終戦記念日を迎えます。毎年ある行事なのに、私たちは注目しなくなっていますか。当たり前だと思いませんか。当たり前に思っていない日本人の犠牲により与えられた平和の意味を、1年に1度ぐらいいはしっかりと注目してみましよう。(松田)



「松前町淡水魚展」開催中!

松前町で生息する淡水魚の展示を、庁舎1階ロビーで行っています。ぜひ見に来てください。

◆展示期間 8月13日(月)まで

☎町民課ごみ対策係 ☎985-4117

